

令和6年度 第2回 松本「シンカ」推進会議 要旨

日時：令和6年11月22日（金）

午後1時00分～

会場：－（オンライン開催）

1 開会

2 座長あいさつ

3 議題

(1) 第12次松本市基本計画の策定について

事務局から説明

(2) 中心市街地再設計について

事務局から説明

< (1) に関する主な意見 >

◆このような会議等で提言したものが生かされているのか、意見が反映されるのか、行政の仕組みや何がどこまで進んだかがわからない。委員として熱量と時間をかけて取り組んだものもあるので、具体的に動き出しているのか知りたい。

⇒（事務局より）外に出ていくときに、市民に検討経過が見えにくい。あり方を調整して、オープンにできる資料を整えていきたい。

◆こども家庭庁ができ、こども真ん中社会を目指す方向になっている。第12次基本計画はこども・若者の意見を聞いてもらいたい。さらに、意見したことがどうなったかを、こどもたちだからこそ、ぜひフィードバックしてもらいたい。そうすることで、自分事として自分の街に関心をもち、将来まちづくりに関われるようになるのではないか。

◆コミュニティ、町会加入率の問題、町会長のなり手不足。住んでいる方の生活が担保されることが重要なので、第12次基本計画で議論されるべきだと思う。

< (2) に関する主な意見 >

まちづくり
全体

◆松本市がこの先50年後、100年後にどのような街になっているかを描くことが大事。そのために今、どのような一手を打つか。
◆100年後、「資産」となっているような街をつくりつつ、多様なパブリックライフが可能になる場をつくっていくと良い。

ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ◆歩行者軸にすることで、自転車を含めて、ほかの場所で渋滞が発生するのでは。その調和をどうするか考えていくべき ◆歩行者にとっても車にとっても便利というのは、どちらも中途半端になりかねない。子どもと手を離しても安心して歩けるくらい、歩行者に便利な空間をつくる形も考えられる。 ◆松本市は、旧市街、新市街、緩衝エリアに分かれている、街の中を色分けするのに出来上がった街。海外には旧市街地があるが日本にはなかなか無い。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ◆ただ外から大型店を誘致して賑わいを出すのではなく、市民から「街の中にこんなものがあったらいいな」をお金を集めて実現できる街、施設をつくっていけると良い。 ◆人口減少が進んだときに、建てたものを誰が壊すのか。建てたものがごみにならないものを作っていく条例等できないか。 ◆良いものを建てるに固定資産税が高くなるので、良いものを建てられる社会的な仕組みがあると良い。
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ◆ウォーカブルと同時にステイアブル (stayable) な街づくりが必要。近年は塩尻のえんぱーくに始まり、諏訪、岡谷、茅野など各地で駅を中心に学生が勉強などをしたり集まって話す場所が整備されているが、松本にはそのような場所がない。 ◆学生が他地域から集まっていることを活かせるよう、全体の行動シミュレーションをして計画づくりが進むと良い。 ◆高校生のサードプレイス。そこで様々な活動ができ、出会いがある。そうなると良い。 ◆室内の遊び場、親子で遊べる場所が欲しいというの色んな親子から聞いている。雨の日も、雪の日も。
グリーンインフラ	<ul style="list-style-type: none"> ◆街中のグリーンインフラは大事。単に緑があるというだけでなく、空気が循環する場所であれば、人が本当の意味で充電できる場所になる。

4 閉会

次回会議については事務局から改めて連絡